科目名 Subject	服飾デザイン Apparel Design		教員名	大野　淑子/渡辺　聰子	
開講年次	2	開講時期	前期	単位	1
必修／選択	選択必修	授業形態	演習	時間	30
実践的教育	○				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	◎	○	◎	△	△
科目の概要	「服飾」は衣服や装飾品を示す言葉です。身体に身につける衣服や装飾品は、「装い」として美容に含まれる概念でもありますが、髪や顔に対する美容をより効果的に表現するために欠かせない要素となります。授業では身近な雑貨や衣服を作る技術を学びながら、デザインすることの価値や楽しさを学んでいきます。衣服や装飾品で装うための学びは年齢に関係なく生活を豊かに活気あるものにする美齢学としても位置付けることができます。				
授業の目標	「服飾」を構成する布などの素材の種類や扱い方を学び、作品を作り上げるために必要な縫製ができるようになる。身近な小物をデザインして作製することで技術を磨き、衣服のパターンを学び作製することで衣服の構成を理解し、人の美に貢献する力を身につけることができる。				
時間外学習 （予習・復習）	学んだ視点を活かし自分の衣服だけでなく雑誌や映画の服飾などから関連する服飾雑貨や衣服に目を向ける。日々の生活の中で衣服の役割や布の素材について意識し理解を深める。（期間中の日常生活15時間以上）				
教科書・教材	教科書	教員作成資料			
	教材	教員作成資料			
	使用設備・備品	ミシン・アイロン・縫製用具（家政実習室使用）			
	参考文献	ファッション雑誌			
評価方法	平常点30%、毎回課題50%、最終作品20%				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。				
履修上の注意	実施条件、使用設備等により人数制限あり。製作品により必要となる布地を各自購入する。				
本科目履修と関連する資格	資格名	特になし			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	オリエンテーション	授業の流れを理解できる。自分のための服飾だけでなく美齢の視点を理解できる	衣服や装飾に関心を持つ
第２回	衣服・服飾の理解	布の種類や授業で使う材料についての理解できる	素材に関心を持つ
第３回	ミシンの使い方	ミニ作品作りを通してミシンやロックミシンの使い方を理解できる	衣服の縫製に関心を持つ
第４回	製作①　ミニクッション	デザインを楽しみミシンやアイロンができる	日常生活の中で製作物に関連する服飾を意識する
第５回	製作②　トートバッグ１	デザインを楽しみミシンやアイロンができる	日常生活の中で製作物に関連する服飾を意識する
第６回	製作③　トートバッグ２	デザインを楽しみミシンやアイロンができる	日常生活の中で製作物に関連する服飾を意識する
第７回	衣服の構成	衣服の構成についてパターンを理解できる	身近な衣服の構成に関心を持つ
第８回	製作物（スカート・パンツ）のデザインを選ぶ	衣服の構成についてパターンを理解できる	インターネットや雑誌などから関連する服飾を調べる
第９回	パターンを学ぶ	衣服の構成についてパターンを理解できる	素材を準備する（生地の選び購入する）
第１０回	裁断	生地にパターンを乗せ裁断・印付けができる	遅れている場合は時間外授業を行う
第１１回	縫製①	布を組み合わせて縫製できる	遅れている場合は時間外授業を行う
第１２回	縫製②	布を組み合わせて縫製できる	遅れている場合は時間外授業を行う
第１３回	縫製③	布を組み合わせて縫製できる	遅れている場合は時間外授業を行う
第１４回	縫製④	裾上げ・ウエストの始末ができる	遅れている場合は時間外授業を行う
第１５回	試着・お互いの評価	衣服製作を完成させることができる	服飾に関心を持ち生活に活かす意識を持つ